

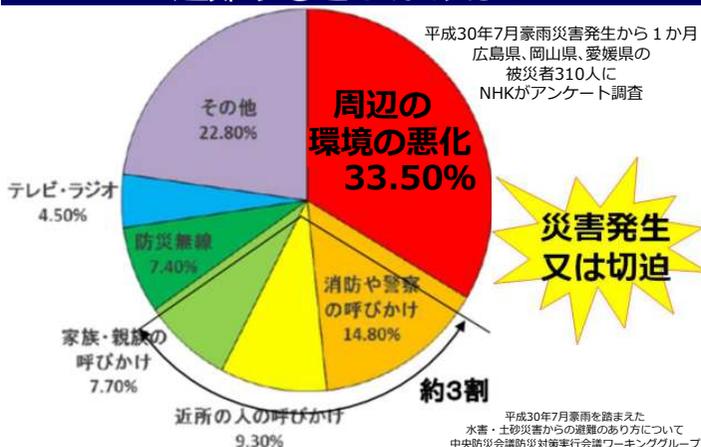
スキルアップ講座 ～自然災害と情報活用シリーズ～

大事な人の避難行動を考える ～大雨災害から命を守る～



板井秀泰 (印西市)

避難するきっかけは？



平成30年7月豪雨を踏まえた
水害・土砂災害からの避難のあり方について
中央防災会議防災対策実行会議ワーキンググループ

平成30年7月豪雨

河川の氾濫、浸水害、土砂災害等が発生
死者237名、行方不明者8名、重軽傷者は432名

〇人的被害(平成31年1月9日現在)

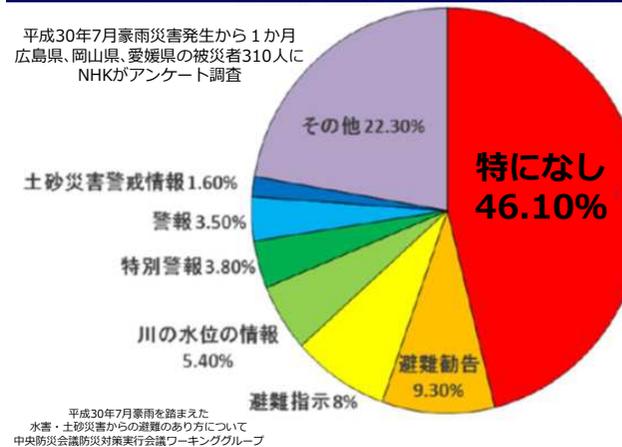
都道府県名	死者	行方不明者	重傷者	軽傷者
岡山県	66名	3名	9名	152名
広島県	115名	5名	61名	85名
愛媛県	31名		33名	2名
他府県	25名		20名	70名
合計	237名	8名	123名	309名

〇住家被害(平成31年1月9日現在)

都道府県名	全壊	半壊	一部破損	床上浸水	床下浸水
岡山県	4,828	3,302	1,131	1,666	5,446
広島県	1,150	3,602	2,119	3,158	5,799
愛媛県	625	3,108	207	187	2,492
他府県	164	1,231	534	2,162	7,559
合計	6,767棟	11,243棟	3,991棟	7,173棟	21,296棟

避難する際に参考にした情報は？

平成30年7月豪雨災害発生から1か月
広島県、岡山県、愛媛県の被災者310人に
NHKがアンケート調査



いつも、みなさんが
傍にいるとは限りません

みなさんの大事な人は、
(両親、夫や妻、子供や孫、友人や恋人 などなど)

大雨の時、自分の命を
自分で守ることが
できますか？



こんな場所が近くにありませんか？



避難って何をすればいいの？

行政が指定した避難場所への立退き避難

安全な親戚・知人宅への立退き避難

安全なホテル・旅館への立退き避難

屋内安全確保

【重要】安全な場所にいる人まで避難する必要はない！

豪雨時の移動は車も含めて危険。やむをえず車中泊する場合災害に巻き込まれないよう、周囲の状況等を十分確認

「3つの条件」が確認できれば浸水の危険があっても自宅に留まり安全を確保することも可能です

① 家屋倒壊等氾濫想定区域に入っていない (入っている...)

② 浸水深より居室は高い

③ 水がひくまで我慢でき、水・食糧などの備えが十分 (十分じゃないと...)

水、食糧、薬等の確保が困難になるほか、電気、ガス、水道、トイレ等の使用ができなくなるおそれがあります

倒壊しない 水が来ない 我慢できる

土砂災害の危険がある区域は家屋が倒壊するので、立退き避難が原則

eラーニング教材
「大雨の時にどう逃げる」

自らの命は自らを守る 基本的な知識と行動を学ぶ
「**大雨の時にどう逃げる**」
監修：防災教育学会会長 藤田 清二先生

あなたとあなたの大切な人は
自分の命を自分で守れますか？

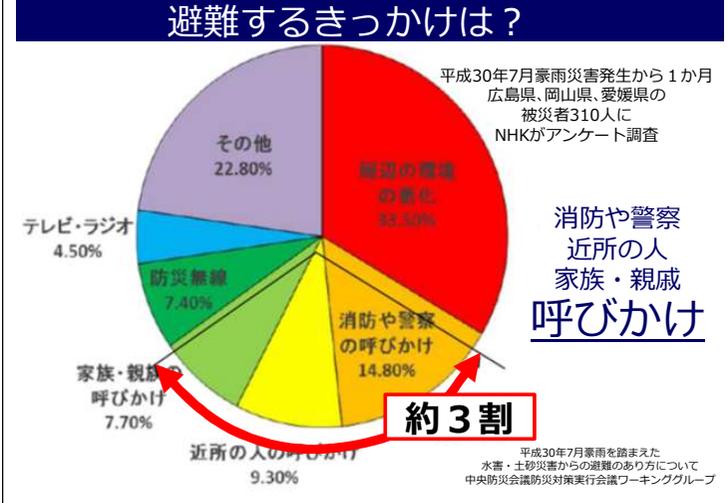
急な大雨・雷・竜巻から身を守ろう！
これはあぶない！
被害編

急な大雨・雷・竜巻から身を守ろう！
これなら安心！
解説編

WEB会議により実施
みんなで集まって実施

気象庁ワークショップ
「経験したことのない大雨
その時どうする？」

気象庁ホームページ
知識・解説



逃げなきゃコール

災害時、大切な人を守るためあなたの一声で避難の後押し

あなたと相手の
住む地域を登録

もしもの時は!

大切な人に
電話で連絡

わかった!

アプリの
サービス登録

登録した地域の
災害情報通知

逃げなきゃ
コール

NHK YAHOO! JAPAN au docomo

国土交通省
<https://www.mlit.go.jp/river/risp/policy/33nigecall.html>

本日の話題は、支部のコラムにも掲載しています

日本防災士会千葉県支部

防災コラム

大事な人の避難行動を考える ～大雨災害から命を守る～

2021年10月11日

大雨被害で民生委員死亡 “自治体に対応任せて” 厚労省が通知

NHK NEWS WEB
2021年8月21日
5時43分

今回の記録的な大雨で、長崎県では1人暮らしの高齢者から頼まれて家に向かったと見られる民生委員の女性が水害に巻き込まれて死亡しました。

厚生労働省は全国の民生委員に対して、災害時には自分の身の安全を優先するよう緊急の通知を出しました。
通知では自治体から避難情報が出ている間は、要支援者の見守りなどが必要な状況でも自分で対応せず、自治体に対応を任せるよう求めています。

※民生委員などで作る連合会によりますと、東日本大震災でも、要支援者の避難誘導などにあった民生委員56人が死亡しています。

NHK NEWS WEBより一部抜粋 <https://www3.nhk.or.jp/news/html/20210821/k10013214931000.html>

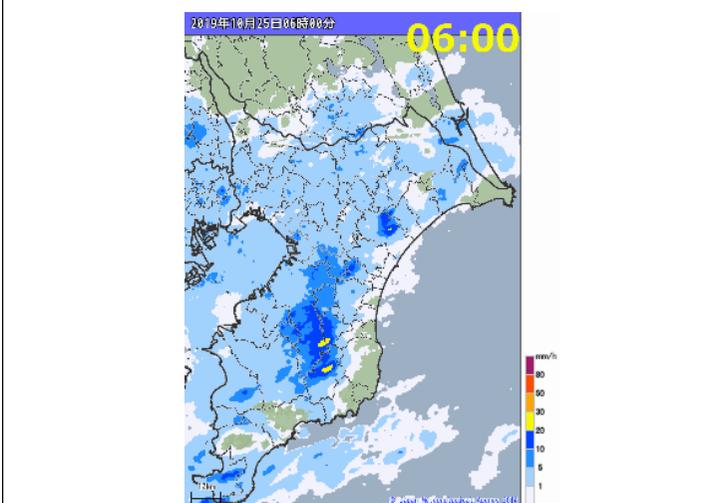
高齢者の早めの避難は お年寄り本人の命を救うことだけが目的ではない

私…。あの時…。
おばあちゃんを置いて逃げた。
どう言っても引つ張っても
おばあちゃんは動いてくれなくて。
海（津波）が見えて。一人で逃げた。
そのあと 多分 大人たちが来て
おばあちゃんを助けてくれたんだと思う。
でも…。私は…。
絶対 自分を許すことはできない。

【百音が、傷ついた妹から学んだ、ひとつの結論】
◆百音（地域の住民、医療・福祉関係者を集めたマイ・タイムライン等説明会での言葉）
災害時の高齢者の事前の避難は
お年寄り本人の命を救うことだけが
目的ではありません。

何かあって ご家族が心を痛めるような
ことはあってはいけない。
10月28日 第119話

参考資料



令和元年10月25日06時～24時

気象レーダー 降水強度	キキル 浸水害	キキル 土砂災害	キキル 洪水害